

特別企画展

2020

10

6

[火]

11

23

[月・祝]

# 小野竹喬

# 春男

父と息子の切ない物語

小野竹喬 朝空 1975年頃 個人蔵

—Heartful Story of Father and Son—

ONOUCHIKIKYO HARUO

開館時間＝午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日＝月曜日[11月2日(月)は開館、11月4日(水)は休館] 観覧料＝一般510円(400円)、高大生400円(320円)、小中生200円(160円)  
( )内は20名以上の団体料金 65歳以上の方(要公的証明書)、障害者手帳をご提示の方(介護者1名を含む)は無料 主催＝京都府、京都府立堂本印象美術館(指定管理者:公益財団法人京都文化財団)、京都新聞 助成＝一般財団法人地域創造  
◎新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定を変更する場合がございます。ご来館前に当館ホームページなどで最新情報をご確認ください。

京都府立 堂本印象美術館

KYOTO PREFECTURAL INSHO-DOMOTO MUSEUM OF FINE ARTS

〒603-8355 京都市北区平野上柳町26-3 TEL:075-463-0007 <https://insho-domoto.com>



## 小野竹喬

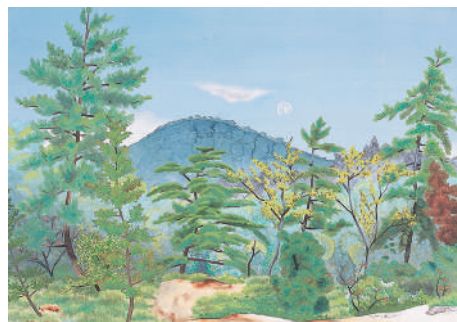
日本の自然を穏やかに見つめ、明るく澄んだ色彩によって情緒豊かな風景を描いた小野竹喬(1889-1979)。岡山県笠岡に生まれた竹喬は、14歳のときに日本画家になると決意して京都の竹内栖鳳に師事しました。1916年に文展で特選を受けましたが、翌年には新たな芸術活動を志して土田麦僊らと国画創作協会を結成し研鑽に努めます。解散後は再び主な発表の場を官展に移し、戦後には明るく柔らかな色調の表現を追求した風景画で新境地を拓きました。

竹喬には、日本画家を目指していた長男・春男(1917-1943)がいました。しかし、春男は京都市立絵画専門学校を卒業し、画家として歩みはじめた矢先に太平洋戦争の召集令状を受け取り、翌年26歳で戦死しました。期待をかけていた息子を亡くしてしまった竹喬は深い悲しみに暮れます。その後、しばしば樹の向こうに広がる空や雲を描き、そこに春男の魂を感じていたといいます。

本展は、生涯にわたって移り変わる自然の様子を穏やかなまなざしで描き続けた竹喬作品を中心に、春男の素描やスケッチの数々をあわせて紹介する京都初の展覧会です。描写をとおした父子の交流を、彼らがともに過ごした衣笠の地で感じていただければ幸いです。



小野竹喬 夕茜 1968年 岡山県立美術館蔵

小野竹喬 秋 1957年  
リベラ株式会社蔵小野竹喬 志賀高原 1960年頃  
ギャラリー鉄斎堂蔵小野竹喬 彩雪 1978年  
ワコースポーツ・文化振興財団蔵小野竹喬 月 1944年  
笠岡市立竹喬美術館蔵ONNO HARUO  
小野春男

小野春男 風景(月) 制作年不詳 笠岡市立竹喬美術館蔵



小野春男 茄子 1941年頃 笠岡市立竹喬美術館蔵

小野春男 女性座像(絶筆)  
1942年 笠岡市立竹喬美術館蔵小野春男 人形劇 制作年不詳  
笠岡市立竹喬美術館蔵

| 関西文化の日 | 11月15日(日) 入館無料



## 交通のご案内

JR京都駅より市バス⑥、JRバス(立命館大学経由)/JR円町駅より市バス⑮、JRバス(立命館大学経由)/阪急電車烏丸駅より市バス⑫、⑭、⑯、⑰、⑱/市営地下鉄四条駅より市バス⑫、⑭、⑯ ※いずれも「立命館大学前」下車

## 同時開催

## 第1回野外工芸美術作家展 入場無料

会期=10月6日(火)~11月23日(月・祝)

会場=京都府立堂本印象美術館庭園

主催=京都府、京都工芸美術作家協会、京都府立堂本印象美術館